

# 平成29年度 指定管理者評価シート

所 管 課	福祉部 地域福祉課
評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 平成29年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代老人福祉センター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	老人の健康の増進、教養の向上等を図るため川西市久代老人福祉センターを設置する。
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制                 ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制                 ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。 (1)老人の生活相談に関すること。 (2)老人の健康相談に関すること。 (3)老人の教養の向上のための講習会、講演会等の開催に関すること。 (4)老人のレクレーションのための支援及び老人クラブ活動の推進に関すること。 (5)施設使用の許可、その取り消し、その他センターの使用に関すること。 (6)施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (7)開館時間及び休館日の変更に関すること。 (8)その他、市長が必要と認める業務に関すること。	
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成34年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	老人福祉法や市条例に則って、卓球や健康体操、フラダンスの会、囲碁、将棋、大正琴、カラオケ、生け花、ヨガなど趣味の会の活動を支援し、設置目的である老人の健康の増進、教養の向上等を図り、成果を得ることができました。 趣味の会の利用曜日の変更が必要な場合、相談により部屋の確保などの調整をして、施設の有効利用をさせていただいています。	A	健康増進、教養の向上といった、目的に沿った様々な趣味の会の活動支援をしている。 また、各会が施設を最大限に活用できるよう、尽力した。	意見なし
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時に身分確認のできる書類の提示を求め、年齢と川西市在住であるかを確認し、登録手続として、住所、氏名、生年月日、緊急時連絡先などを記入していただき、施設の説明をいたします。 趣味の会に参加ご希望の場合、見学後、代表者の方から詳細を説明していただいた後、入るか否かを判断していただいています。	A	初回利用時の身分確認に際し、身分証の提示を徹底している。 また、趣味の会への登録に当たっては、見学者に検討の機会を十分に設けており、適正に対応している。	意見なし
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があつたか。	A	市の広報誌に掲載、館内に掲示いたします。 また、職員が利用者に直接、講演会や行事への参加を呼びかけました。その結果、知り合いや友人に輪が広がり、行事参加者増に繋げることができました。	B	市広報への掲載や施設内の掲示に加え、各職員の口頭での周知を徹底したことにより、講座参加者は前年度より増加した。 しかし、全体の利用者数は減少しているため、引き続き広報活動に努めること。	意見なし
< 課題 >	特になし		特になし		意見なし
< 改善内容 >	特になし		特になし		意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	趣味の会は多種多様で、設置目的にある、老人の健康の増進、教養の向上が、有効に図れています。また、個人的な楽しみごと、生活相談も受けました。施設として、地域の「どんとまつり」にも参加し、幅広く有効な事業展開を行っています。	A	健康増進と教養の向上、という施設の目的にかなった運営はもとより、利用者の気持ちに寄り添う配慮も見られ、評価できる。 また、地域の行事にも積極的に参加するなど、広く地域福祉に貢献している。	意見なし
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	例年の「カラオケ発表会」や「敬老のつどい」のほか、健康相談事業として、「骨粗鬆症という疾患についての講演、世代間交流事業としての「春のミニコンサート」等を企画開催し、参加者数の増加に努めました。また、地域交流の一環として、地元自治会の老人活動や総会等に部屋を利用していただくことがあります。	A	利用者の関心の高いテーマを取り上げ、かつ申込方法を簡素化することで参加者から好評を得た。	意見なし
< 課題 >		地域に密着した施設であり、地域の状況がそのまま施設の利用状況に反映されます。利用者の高齢化に伴う趣味の会グループの人数減などが現状です。		地域の交流活動拠点として、利用促進に努めること。	意見なし
< 改善内容 >		世代間交流事業として川西市吹奏楽団(28人)を招いて行った「春のミニコンサート」は、幼児から高齢者まで利用者106人の参加があり、大好評でした。		併設施設の特性を活かして、世代間交流の場となっている。	意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A				(1-3) 利用者の満足度
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	平成29年度のアンケート調査は30年5月に実施しました。また、普段の日常会話の中で、利用者に満足していただけるように、職員は常に要望等を把握するという目的意識をもって接しています。	A	アンケートを年1回実施し、ニーズ把握に努めた。 また、職員も日頃から利用者の要望を汲み取れるよう心がけている。	意見なし
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	アンケートでは「毎日、元気をもらっています。ありがたい」「歳をとってから仲間ができることがうれしいです。」「いつまでもこの場所があつてほしいです。」等の声をいただきました。安全に利用できる施設を持続できるよう努めてまいります。	A	アンケート結果から、高い満足度が得られていることがわかる。 今後は利用者の要望を実現するなど、事業改善につなげる。	意見なし
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情に対しては、その都度誠意をもって、迅速に対応し、努めて丁寧な説明に心がけています。平成29年度は苦情はありませんでした。また、法令や利用のルール、平等な利用等に関する事業の場合は川西市福祉部地域福祉課の判断指示を仰ぎます。	A	苦情が発生した際には、迅速かつ誠実に対応している。	意見なし
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	職員から声をかけて、日々の活動時からコミュニケーションをとることで、利用者からの本音の意見を聞き出すことができると努めています。 敬老のつどいやカラオケ発表会は事前会議を行い、皆様の意見を反映させています。	A	ニーズ把握の基礎としてコミュニケーションを重視しており、各職員も常にその意識を持って対応している。	意見なし
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	老人クラブ活動の推進のために、地域の老人会や自治会の活動への場所の提供に取り組みしました。 地域の高齢者の皆様は「近くで、無料で利用できるのはありがたい」と言われ、活動場所として利用されました。	A	高齢者の交流の場として、有効に利用できるように地域へ促す。	意見なし
< 課題 >		駐車スペースがなく、自家用車での利用は難しい。		特になし	意見なし
< 改善内容 >				特になし	意見なし

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	含	要
	改	善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	なぜその評価に至ったか(説明)				
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】				
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減				
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	年間を通じて高額となる水道光熱費については、職員の意識と努力で経費節減が可能であると考え、職員各自が意識して利用者がいない時間、部屋の照明や空調のスイッチを切るよう、周知徹底しています。また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、協力依頼をしました。	A	経費節減について、職員間だけでなく、可能な範囲で利用者の理解と協力も得ながら積極的に取り組んでいる。	意見なし				
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	常に経費節減を意識して、修理や物品購入時は、必ず相見積りを取っています。また、低額な各種備品購入では、近隣のホームセンターなど安価で購入できる商店を利用し、購入しています。	A	高額な支出に際しては必ず複数業者から見積もりを取っており、適切に対応している。また、軽微な備品購入においても安価となるよう常に意識しており、評価できる。	意見なし				
< 課題 >		建物は30年以上が経過しており、老朽化と劣化が進行し、今後は修繕費の増加が見込まれます。必要に応じて川西市と協議しながら取り組んでまいります。		修繕が必要な箇所については定期点検等で把握し、計画的に進めていく必要がある。	意見なし				
< 改善内容 >		夜間警備について、委託料節減を目的に、社協全体で見直しをしました。また、見直しに伴う経費節減額の中から防犯対策上の安全の確保を目的に防犯カメラを設置しました。		削減した経費を利用して、防犯設備を整備するなど、経費削減と環境改善を両立している。	意見なし				
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加				
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
② 収入の増加など取り組みの効果は得られたか。									
< 課題 >									
< 改善内容 >									
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど				
① 収支のバランスは、適切であったか。									
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。									
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。									
< 課題 >									
< 改善内容 >									

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	評価	A
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価	コメント	
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		A	3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		A	(3-1) 管理運営の実施状況	
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	人員は、所長(兼務)以外に、主任指導員、指導員、事務員の3名が配置されています。現場で業務を円滑に運営するには、併設の児童センターとの連携が必要です。	A	併設している児童センターと協力しながら業務に取り組んでいる。	A	意見なし	
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	「甲種防火管理者再講習」に参加しました。また、3法人合同職員研修会において、「広域法人の適正な運営について」の研修に参加しました。	A	業務内容に深く関わる研修に、積極的に参加している。	A	意見なし	
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	高齢者の利用する施設として、夏と冬の空調には細心の注意を払いました。また、夏場は、健康管理において、水分補給を促し、職員が個々の利用者へ声掛けをしました。	A	利用者の健康と経費節減の両面に配慮しながら、適切に運営している。	A	意見なし	
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	地域にある正愛病院、川西南包括支援センターと連携して利用者への情報提供をしました。	A	様々な施設と連携することで、情報発信の機会を増やした。	A	意見なし	
<課題>		事業を円滑に運営するには、事故防止のため、同一事務所内の老人福祉センター職員と児童センター職員が相互に業務を調整し、協力して支援を行うことが必要であると考えています。		児童センター職員と連携し合うことで人件費を節減しているが、過渡期にあつては、サービス提供の質が低下しないよう、より柔軟な人員配置が必要となる。		意見なし	
<改善内容>		業務を調整して、児童センターの職員と老人福祉センターの職員が行う相互協力を継続しています。		利用者の満足度を維持・向上させるためにも、年間を通じて併設施設を含めた人員配置を十分に検討すること。		意見なし	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		A	(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時、川西市を住所とするかを書類提示で確認の上、登録していただきます。閉館前に来た人は時間まで椅子に座って待機をお願いしています。閉館時間は放送を通じてお知らせしています。臨時休業時は利用予定者には事前連絡しています。また、内部監査が平成29年8月16日に行われました。	A	初回登録時に身分証の確認を徹底しており、改善が見られる。	A	意見なし	
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施設の錠錠できる金庫やロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止する事を職員に徹底しています。	A	個人情報は鍵付きの保管庫に入れ、職員による持ち出しを禁じるなど、適切に取り扱っている。	A	意見なし	
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	利用者の転倒防止のため、廊下など動線上に障害物を置かないよう、常に気をつけています。また、避難路の確保のため、小さな荷物でも置かないよう、職員や利用者へ注意喚起を徹底しました。	A	通路の確保など、日常的な場面の安全対策を徹底しており、評価できる。	A	意見なし	
④防火、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	終業後や夜間、休日の警備は、アルソックに委託しています。火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を消防署立会いのもと、必要な指導を適時受けました。	A	防犯面は警備会社に委託し、また防災面については訓練を実施していることから、適切な危機管理体制が敷かれている。	A	意見なし	
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガの場合、体調不良の場合など)、避難災害時はマニュアルどおり対応しています。また、ヒヤリハットも作成し全員で共有しています。	A	緊急時に備えてマニュアルを整備し、適切に運営している。ヒヤリハットもその都度職員間で共有しており、リスク管理を徹底している。	A	意見なし	
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	趣味の会では、「利用の手引き」を作成し、それぞれに説明しています。一部のグループだけが、独占的に日程や部屋を取れないこと、平等になるよう説明し、理解を得ています。個人利用の健康器具においては、一人が独占しないよう20分で交代するよう、タイマーで電源の入り、切りを行っています。	A	平等な利用の実現に向け、手引きを新たに作成したり、人気が高い器具をタイマーで管理するなど、多様な形で配慮している。	A	意見なし	
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。						意見なし	
<課題>		条例や規則等に基づき、事業運営することを全職員が意識して継続的に取り組む必要があります。		特になし。		意見なし	
<改善内容>		防犯対策として、予防のため、防犯カメラを設置しました。		特になし。		意見なし	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市久代老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A		A			
・評価できる内容	健康体操やヨガなどは、参加することで、介護予防効果があります。また、児童センターとの併設である利点を活かし、囲碁クラブ、赤ちゃん交流会、ハロウィンなど11種類の独自の世代間交流を、継続して実施しています。また、歌謡ダンス、囲碁、将棋、ダーツ、卓球、カラオケ、詩吟など22の登録グループ約300人に対して、日時・場所などの調整を行い、施設として最大限の支援を行いました。一年を通して、大きな事故やトラブルなく円滑に事業を進めることができました。		施設の目的に沿った適切な運営はもちろん、児童センターが併設されているという特性を活かして世代間交流のイベントを企画するなど、広く地域福祉に貢献している。また、21の登録グループが円滑に利用できるよう支援されており、結果として利用者の満足度の高さにつながっている。		児童センターと併設で、このような大きな物件はここだけなので、もっと市民に広報をしていただきたい。	
・平成29年度に改善した内容	健康相談に関する講座(身近なテーマの『骨粗鬆症という疾患について』を地域の正愛病院と連携して実施しました。世代間交流事業として「春のミニコンサート」を実施し好評を得ました。防犯対策として、監視カメラの設置を行いました。		高齢者の健康増進を目的に地域の医療機関と連携した講座を主催するなど、地域との関係性の向上に努めている。また、削減した経費を利用して防犯体制を整備するなど、適正な施設運営に努めている。		意見なし	
・平成29年度に改善したことによる効果	世代間交流事業として川西市吹奏楽団(28人)を招いて行った「春のミニコンサート」は、幼児から高齢者まで利用者106人の参加があり、「近くで演奏がきけとても楽しい時間が過ごせた。来年も実施してほしい。」という好評でした。次年度も実施の方向で検討することとなります。防犯対策として、監視カメラを設置いたしました。		地域交流の場として、世代間の交流や高齢者の生きがいづくりに寄与することができた。また、防犯カメラを設置したことで、防犯体制が強化された。		意見なし	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	趣味の会は、グループ数は変わりませんが、グループ内の人数に減少傾向がみられます。全体として利用者の高齢化に伴う利用者減少傾向が見られ、新規利用者を増やす必要性があります。		現在21の登録がある趣味の会について、それぞれ構成メンバーの固定化・高齢化による規模の縮小が懸念されている。		意見なし	
・改善方法とその時期	4月から6月からの新しい主催講座を通じて、講座利用者に趣味の会への参加などを声かけしていくことで新規利用者の拡大を図っていきます。また、趣味の会のグループ間の交流なども促します。		新規の利用者を獲得するために、広報活動に注力すること。また、利用者とのコミュニケーションを図り、新たな加入希望者の発掘に努めること。		意見なし	

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。